

令和3年経済センサスー活動調査 産業別集計（卸売業、小売業）に関する集計結果（確報 概要版）

<高知県分>

【調査結果の概況】

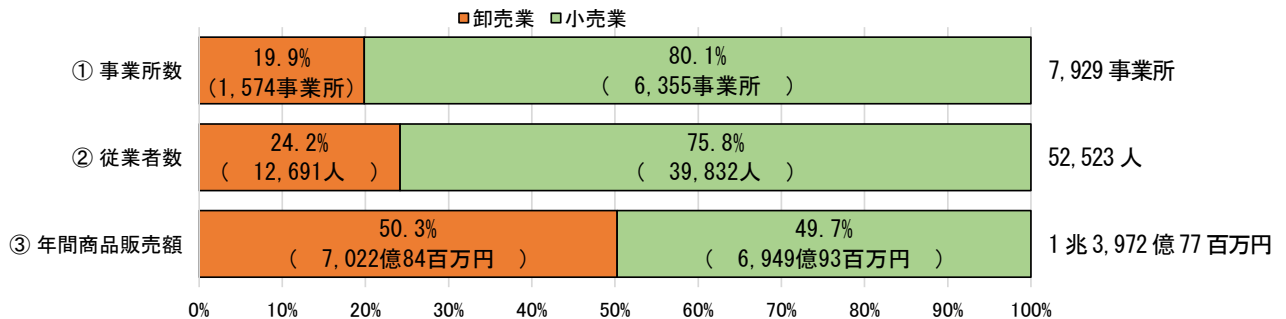
事業所数、年間商品販売額ともに減少し、従業者数は増加となった

①事業所数	7,929 事業所 (全国 44 位)	(H28 比△437 事業所、H28 比△5.2% (全国 15 位))
②従業者数	52,523 人 (全国 44 位)	(同比+586 人、同比+1.1% (全国 20 位))
③年間商品販売額	1兆3,972億77百万円 (全国 45 位)	(同比△1,135億24百万円、同比△7.5% (全国 46 位))

※個人経営の事業所分を含まない。

1 県内の卸売業と小売業の構成比

事業所数及び従業者数は、それぞれ、卸売業で約2割、小売業で約8割となっている一方、年間商品販売額は、卸売業と小売業が約5割ずつとなっている。



2 調査結果の増減の要因

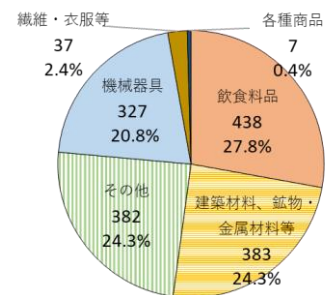
①事業所数

ア 卸売業 1,574 事業所 [平成28年比で△58 事業所 (△3.6%)]

「建築材料、鉱物・金属材料等」などで増加した一方、「飲食料品」や「機械器具」などで減少。

- 建築材料、鉱物・金属材料等 +32 事業所、 +9.1% (383 事業所)
- その他 +28 事業所、 +7.9% (382 事業所)
- 各種商品 △2 事業所、 △22.2% (7 事業所)
- 繊維・衣服等 △6 事業所、 △14.0% (37 事業所)
- 機械器具 △25 事業所、 △7.1% (327 事業所)
- 飲食料品 △85 事業所、 △16.3% (438 事業所)

卸売業 (R3 事業所数: 構成比)

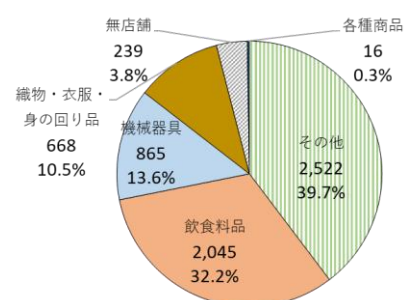


イ 小売業 6,355 事業所 [平成28年比で△379 事業所 (△5.6%)]

「無店舗」などで増加した一方、「飲食料品」や「その他」などで減少。

- 無店舗 +46 事業所、 +23.8% (239 事業所)
- 機械器具 +12 事業所、 +1.4% (865 事業所)
- 各種商品 △6 事業所、 △27.3% (16 事業所)
- 繊維・衣服・身の回り品 △105 事業所、 △13.6% (668 事業所)
- その他 △156 事業所、 △5.8% (2,522 事業所)
- 飲食料品 △170 事業所、 △7.7% (2,045 事業所)

小売業 (R3 事業所数: 構成比)

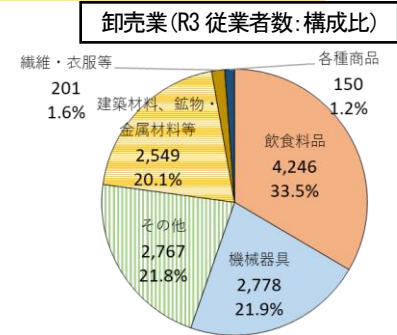


②従業者数

ア 卸売業 12,691人 [平成28年比で△129人 (△1.0%)]

「建築材料、鉱物・金属材料等」などで増加した一方、「飲食料品」や「各種商品」などで減少。

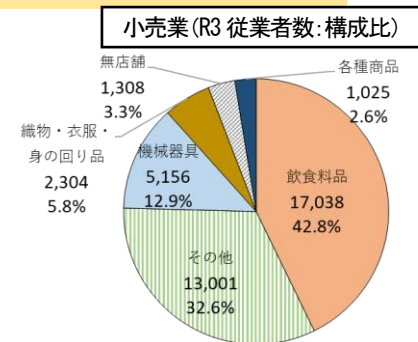
- 建築材料、鉱物・金属材料等 +163人、+6.8% (2,549人)
- 機械器具 +1人、+0.0% (2,778人)
- 繊維・衣服等 △13人、△6.1% (201人)
- その他 △43人、△1.5% (2,767人)
- 各種商品 △75人、△33.3% (150人)
- 飲食料品 △162人、△3.7% (4,246人)



イ 小売業 39,832人 [平成28年比で+715人 (+1.8%)]

「繊維・衣服・身の回り品」などで減少した一方、「飲食料品」や「無店舗」などで増加。

- 飲食料品 +1,139人、+7.2% (17,038人)
- 無店舗 +326人、+33.2% (1,308人)
- 機械器具 +281人、+5.8% (5,156人)
- 各種商品 +78人、+8.2% (1,025人)
- 繊維・衣服・身の回り品 △447人、△16.2% (2,304人)
- その他 △662人、△4.8% (13,001人)

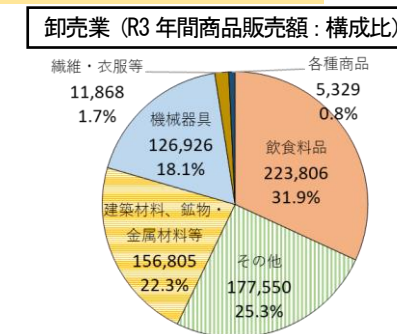


③年間商品販売額 (法人のみ)・・・R3年から個人経営分は調査なし

ア 卸売業 7,022億84百万円 [平成28年比で△1,532億6百万円 (△17.9%)]

「繊維・衣服等」などで増加した一方、「飲食料品」や「機械器具」などで減少。

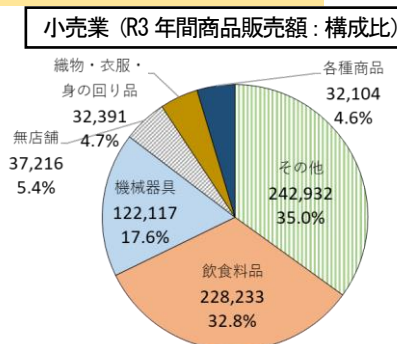
- 繊維・衣服等 +28億10百万円、+31.0% (118億68百万円)
- 建築材料、鉱物・金属材料等 +14億円、+0.9% (1,568億5百万円)
- 各種商品 △222億6百万円、△80.6% (53億29百万円)
- その他 △239億82百万円、△11.9% (1,775億50百万円)
- 機械器具 △263億29百万円、△17.2% (1,269億26百万円)
- 飲食料品 △848億99百万円、△27.5% (2,238億6百万円)



イ 小売業 6,949億93百万円 [平成28年比で+396億82百万円 (+6.1%)]

「各種商品」などで減少した一方、「飲食料品」や「無店舗」などで増加。

- 飲食料品 +240億91百万円、+11.8% (2,282億33百万円)
- 無店舗 +125億48百万円、+50.9% (372億16百万円)
- 機械器具 +80億83百万円、+7.1% (1,221億17百万円)
- その他 +61億13百万円、+2.6% (2,429億32百万円)
- 繊維・衣服・身の回り品 △41億95百万円、△11.5% (323億91百万円)
- 各種商品 △69億58百万円、△17.8% (321億4百万円)



※ 利用上の注意

・ 令和3年経済センサス活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的として、令和3年6月1日現在で実施した調査です。

本確報は、卸売業、小売業に関する集計結果として産業別に集計し、公表されたものを本県分について取りまとめたものです。

・ 本概要資料のうち、年間商品販売額については個人経営の事業所分は含まれません。

・ 令和3年経済センサス活動調査では、「国税庁法人番号公表サイト」の情報も活用しているため、過去の調査結果とは単純に比較ができません。集計結果の時系列比較を行う際は、十分な留意が必要です。

・ 平成28年の数値については、高知県が独自集計を行っておりますので、国の公表値と異なります。